

科目名	実践基盤看護学特別研究Ⅱ Research ProjectⅡ in Practice foundation Nursing			担当教員 (研究室番号)	未定		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目	選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4(60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
科目 目的	看護学領域における基盤となる研究課題（健康の維持増進・疾病からの回復・症状マネジメント等を支援する看護実践方法の開発・エビデンスの追求、およびそれらの看護実践を実施できる看護職者の育成）を明確にし、研究を実施する。										
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。									
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育及び実践看護学に関する課題を追求していける研究能力を身につけている。									
到達 目標	1. 研究計画の実施に伴う倫理的配慮を検討し、研究倫理審査を受審することができる。 2. 研究に必要なデータを適切に収集できる。 3. 必要に応じて研究フィールドの調整を行うことができる。										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション（50%）、倫理審査申請に関する書類（40%）、取組み状況（10%）										
教科書	特に指定しない。										
参考書等	必要時に提示する。										
受講者への メッセージ											
備考	データ収集活動に先立って本学の研究倫理審査を受審し、「適」の判定を得ること。										
学 習 内 容											
【到達目標1について】 - 研究計画の実施にあたり必要な倫理的配慮を検討し、他の大学院生や指導教員に対しプレゼンテーションを行い、聴講者からの意見を参考に修正する。 - 検討した研究計画に関連する倫理的配慮について本学倫理審査会に申請する。 - 倫理審査会からの指摘事項に対応して倫理審査申請書を修正し、「適」が得られるまで再提出する。 【到達目標2について】 - 研究計画に沿って適切にデータを収集する。また、研究方法に応じた留意事項や手法の修得を目指す。 【到達目標3について】 - 研究方法に応じて、施設・対象者への依頼方法を検討して主体的に行う。											